

# 2023 年度第 1 回日本地球化学会理事会 議事録

日 時 2023 年 8 月 25 日(金)13:00-16:05

場 所 zoom による web 開催

<https://us02web.zoom.us/j/84646749628?pwd=TndocjEyWFRSck14L2hka2lES0pUdz09>

出席者 南 雅代, 小畠 元, 鍵 裕之, 深原 良浩, 飯塚 純, 石川 剛志, 大野 剛,  
上野 雄一郎, 黒田 潤一郎, 下田 玄, 角野 浩史, 高橋 嘉夫, 谷本 浩志, 張 劲,  
中川 書子, 福山 繭子, 古川 善博, 山口 保彦, 若木 重行, 川幡 穂高(監事),  
山本 鋼志(監事)

欠席者 井尻 晓, 濑戸 繭美, 長島 佳菜, 丸岡 照幸

オブザーバ 鈴木 勝彦, 田中 万也, 山口 瑛子, 山中 寿朗

## 1. 審議事項

### 1.1 2022 年度事業報告, 決算報告及び監査報告

深原庶務幹事より 2022 年度の事業報告(総会第一号議案)について, 黒田会計幹事より 2022 年度の決算報告(総会第一号議案)について資料に沿って説明があり, 承認された. また, 川幡監事より 8 月 10 日に国際文献社の会議室で行った事業監査および会計監査の報告がなされた.

### 1.2 2023–2024 年度役員選挙の結果

飯塚選挙管理委員会委員長より 2023–2024 年度役員の選出(総会第三号議案)について説明があり, 承認された. また, 新たに導入した選挙システムでの投票の案内や候補者の所信の表記の改善について今後検討することを確認した.

### 1.3 2023 年度事業計画案及び予算案

深原庶務幹事より 2023 年度の事業計画案について, 黒田会計幹事より 2023 年度の予算案について資料に沿って説明があり, 承認された. 出版費の支出については, 2023 年度より和文誌の印刷費と GJ の制作費の項目を分けることとした. また, 2023 年 9 月より始まった若手スタートアップ奨励金の支出に対応する項目として, 事業費の中に若手支援事業の項目を追加設定した.

### 1.4 総会 開催通知と実施要領

飯塚総務幹事より, 総会案内ハガキの文案と 2023 年 9 月 22 日の総会実施要領が提案され, 承認された.

### 1.5 授賞式, 受賞講演の実施要領

2023 年 9 月 22 日開催の授賞式・受賞講演の実施要領が提案され, 承認された. 2023 年の奨励賞受賞者の講演は, 受賞者紹介及び質疑応答を含めて 20 分, 学会賞受賞者の講演は 35 分とすることを確認した.

### 1.6 夜間集会プログラム

小畠副会長(将来計画委員会委員長)より夜間集会のプログラム案が提案され, 承認された.

### 1.7 若手スタートアップ奨励金

深原庶務幹事(瀬戸鳥居・井上基金委員会委員長の代理)から, 3 名の若手スタートアップ奨励金の

申請を受理したこと、選考委員会での選考プロセスの説明があった。選考委員会から浦井暖史会員が推薦され、推薦理由の説明があった。審議の結果、浦井会員への奨励金 20 万円の支給が承認された。

なお、受理した 3 件の申請以外に、1 件の問合せと 1 件の支給対象外の申請があった。いずれも申合せに記載された「他の助成金」を受給されている会員からであった。比較的少額の助成金、所属機関内の競争的資金の取り扱い、研究代表者・分担者の取り扱いについては今後検討することを確認した。

### 1.8 年会期間中の学生懇親会

南会長より、年会での学生懇親会の提案があった。年会初日の昼休みに、高橋理事と仁木会員（東大）、会長が中心となって実施すること、参加者のお昼のお弁当は寄付金を使用すること、参加確認アンケートを実施することが説明され、承認された。

### 1.9 学生発表賞の申し合わせの会員区分の変更

福山企画幹事より、「学生発表賞申し合わせ」の会員区分変更について提案があった。一般会員に学籍があり学生発表賞へエントリーをしたい場合、現在の申し合わせでは学生会員に変更する必要がある。一般会員のままエントリーができるように、申合せに記載の対象者を「学生会員」から「正会員」に変更をすることが提案され、承認された。

### 1.10 2028 年 Goldschmidt 日本招致について

谷本国際幹事より、国際対応委員会での Goldschmidt 日本招致についての議論を踏まえ、GS との情報交換を含めて、2028 年日本開催の検討を始めることが提案され、承認された。

## 2. 報告事項

### 2.1 会長報告

- ・ 次期理事会への引き継ぎ、幹事の引き継ぎを、総会後できるだけ早く行うことを確認した。
- ・ 次期理事会への申し送り事項の作成のための資料の提出を理事に依頼した。
- ・ GS board member の推薦は、MOU を締結している中国鉱物岩石地球化学会、中華民国地質学会、韓国地質学会とも連携して行うことを確認した。
- ・ 2024 年の年会開催地での公開講演会に関する科研費「研究成果公開促進費(研究成果公開発表 B)」(2024 年度)、GJ 出版に関する科研費「研究成果公開促進費(国際情報発信強化)」(2024～2028 年度)の申請準備状況が報告された。
- ・ 日本学術会議の IUGS 分科会 /IAGC (International Association of Geochemistry and Cosmochemistry) 小委員会が継続する見通しとなった。

### 2.2 企画幹事報告

- ・ 福山企画幹事より学生発表賞審査のスケジュールと閉会式の式次第について説明があった。
- ・ 山中年会実行委員会委員より年会の準備状況について報告があった。

### 2.3 国際幹事報告

谷本国際幹事より、Goldschmidt 2023(フランス・リヨン)、2024～2027 年の Goldschmidt 会議の開催地(地域)、2023 年 8 月 16 日国際対応委員会開催、2023 年 9 月 8 日国際対応委員会開催予定、の報告があった。

## 2.4 会員幹事報告

大野会員幹事より、資料に基づき 2023 年 5~7 月の会勢報告があった。また、年会時のメンター交流会に 2 名の名誉会員が出席予定であることが報告された。

会員、賛助会員の減少に関連して、高橋理事より、賛助会員、協賛企業の募集を検討することが提案された。

## 2.5 庶務幹事報告

淺原庶務幹事より、次の 6 件の報告があった。

- ・ 2023 年度の JpGU プログラム委員と代表理事により、2024 年度 JpGU プログラム委員として、若木重行会員(正. 3 年目)、石野咲子会員(副. 2 年目)、安藤卓人会員(副. 1 年目)を選出した。
- ・ 2023 年度山田科学振興財団研究助成に学会より推薦した飯塚理子会員の申請が採択された。
- ・ 2023 年度第 1 回鳥居・井上基金助成への応募はなかった。
- ・ 令和 6 年度技術分野の文部科学大臣表彰学会推薦(若手科学者賞)を 2 件行った。今後、より積極的な推薦を行うため、早めの学会推薦の決定、学会庶務への書類提出締切と文部科学省への提出締切の間の日数(申請書の確認期間)の確保に努める。
- ・ 引き続き、各種表彰、研究助成の推薦を積極的に行うことを確認した。
- ・ 国際文献社との委託契約(2023 年 8 月～2024 年 7 月)および国際文献社の預かり物一覧(2023 年 6 月)を確認した。

## 2.6 Geochemical Journal 編集委員長報告

鈴木 GJ 編集委員長と黒田会計幹事より、2024 年 1 月以降の GJ の APC の学生会員割引について検討中であり、次回理事会で具体的な提案を行う予定であることが説明された。

## 2.7 会計幹事報告

- ・ 長期的な学会会計収支の変動を報告した。今後の会費収入の変化、余剰金額、それらと会員サービスとのバランスを考慮し、5~10 年の中長期的な学会財政の検討を継続する必要がある。
- ・ 国際文献社から提案があり、郵便振替口座の振替通知票から WEB 照会に切り替える。経費削減、処理スピードの向上の観点からもメリットが大きい。